

国語学習プリント

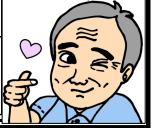
date : 年 月 日

学習内容：情景・心情を推し量る

四季の詩

氏名

年 組 番



四季の詩

春の詩

春

 安西 冬衛 あんざい ふゆゑ

 てふてふが一匹 韃靼海峡を渡って行つた。
だつたんかいけい

夏の詩

耳

 ジャン・コクトー ジャン・コクトー
堀口 大學 ほりぐち だいがく 訳

 私の耳は貝のから
海の響をなつかしむ ひびき

秋の詩

虫

 八木 重吉 やぎ じゅうきち

 虫がないてる
いまないておかなければ
もう駄目だ だめ というふうにないてる
しぜんと なみだ
涙をさそわれる

冬の詩

雪

 三好 達治 みよし たつじ

 太郎を眠らせ、太郎の屋根に雪ふりつむ。
次郎を眠らせ、次郎の屋根に雪ふりつむ。


各詩の情景や心情を想像してみよう

「春」

 ○「韃靼」 だつたん という言葉やその響きから感じとれること

○「てふてふ」という言葉やその響きから感じとれること

「耳」

○（ ）を（ ）にたとえている。

○そこから読み取れること

「虫」

○何を感じますか

「雪」

○どんな雪だと思いますか

○何を感じますか